いわき民報
発行所　いわき民報社
平市四丁目八四番地　電話一七六番
発行人　千葉克己
編輯人　同
月刊　但し月二回発行
定価一ヶ月十円　一ヶ年分前金百二十円

生徒兒童代表も參加
市内中小學校教育復興大會

市内中小學校の教育、父兄及び生徒、兒童を一丸とした教育復興大會は來る六日午後一時から磐城高女講堂で開き、教科書問題を始め教育の復興振興に關し凡ゆる面からの協議を爲ける、なお同大會には各學校から二組から約一名ずつの生徒代表も參加、生徒、兒童側からの意見も求める計畫となつているので期待されている

なおこの結果第一の問題に對しては戰時に於ける軍事補償に關係ない組合は法文化するまで續行を期する事になつた退職被傭員に對してはそれぞれ退職金を贈呈する事、總代會は十日頃開催する、役員會報酬問題は縣經濟部に抗議を申込もうとのもの

鮮魚出荷報奬物資
七月分四市向の各濱割當決る

四市向七月分鮮魚八萬七千九百四十四貫に對する報奬用資材の各濱割當は左の通り決つた、現物は縣水及び縣海運に確保されているので直に受取れる、なお八月分も目下集計中である

◆小名濱　綿糸五一玉、鹽一〇〇俵、作業衣五〇枚、シヤツ二八枚、手拭一四枚
◆江名　綿糸一六玉、鹽四七俵、作業衣二四枚、シヤツ一五枚、手拭一二枚
◆久ノ濱　綿糸四玉、鹽六俵、作業衣三枚、シヤツ三枚、手拭三枚
◆豐間　綿糸九玉、鹽一七俵、作業衣九枚、シヤツ五枚、手拭四枚

役員報酬で縣に抗議
小名濱信用組合きよう役員會で

小名濱町信用組合では一日午後一時より緊急役員會を開き左の諸件を附議

▲縣をプロックとした組合の合同▲監事山崎幾藏辭任承認▲鮮仕組合長並に監事に退職金贈呈▲新たに改選したる總代の臨時總會▲役員報酬不認可に對する抗議

喜べ！今年しや豐年
二百十日の都下の米作況をきく

きのう二百十日も本穗にすぎた、郡下の稻の作況はどうか、農業會石城支部にきくと、一般に郡下の稻穗は遲出が多く、やつと穗出の狀態であるが、結實は一般に良く今年度收穫豫想はこのまゝ順調にいけば、平年作上廻りは確實と見られるとのうれしい組託宣である

東北六縣の市長會議へ
第四十四回奥羽六縣市長會議は十、十一の兩日鹽竈市に開かれるが、平市から鈴木市長が上野馬務課長を隨行出席することになつた

遺族懇談會
縣遺族連合會では二十日午前十時から平市公會堂日本間に遺族懇談會を開催、相互扶助と自主的組織を目指しての生活協同組合の結成、物資の交流、授産事業の經營等について協議する

民報論壇
電話の故障を改善せよ

最近平市内の電話が頻々たる故障の發生で通話に不便を感じている、これに對し郵便局の態度が極めて消極的であつて故障の續發が辯いのでわれわれは一般電話使用者の權利擁護の爲め當局に苦言を提さざるを得ない、一例を示すと故障發生以來一ヶ月餘に至つてもなお通話不能であると云ふ使用者もあり、この間再三再四修理方を懇請したがノレンに腕押しで何等の反應がなく、依つてその儘放任しているとあきらめている氣の毒な者もある、機械である以上故障の起るのは已むを得ないのであるが、われわれの使用する電話も亦數日來電話局への當方からの働きかけが絶えず不便を來している、何遍か修理方を要請したが今以つて係員の派遣もなく故障の儘となつている

天災地變による不可抗力な故障なら已むを得ないのであるが平穩に經過している今日、不可抗力な故障ではなく、單に係員の怠慢によるものであることが明瞭でもあり郵便當局が奬勵妨害の責任をとらなければならぬ問題である斯ふした不親切をなくし改善している半面に又電話料通話料の問題があり、納期を經過すれば容赦なく通話を差し止めている民間の者に對しては斯くの如く嚴格な法規の行使をしていながら自己の責任を果さずてんとして恥ちないと云ふ態度は戰時中に育成された封建的官僚政治が今尚幾存している證左であつてかゝる官僚こそは日本再建を阻む者として斷乎排撃するべきものである（田原）

生徒募集

一、授業開始　九月十日
一、本科（六ケ月）　一〇〇名
一、研究科（六ケ月）　五〇名
一、願書締切り　九月五日まで

公認平文化服裝學院
院長　片寄幸子
平市南町一公會堂通（電一〇一九）

就職斡旋がなやみ
農業會解散と失職問題

農業會解散をまへに農業會石城支部では職員の就職あつせんに頭を惱ましているが、このまゝ協同組合に移行したり肥料配給公團へあつせんしても若干は失職するものとみられ從組分會では縣本會に足なみを揃へて、完全雇用を目標に活潑な運動を展開している支部の職員は四十名だが、事務處理と特殊の技術を見込まれて他へ就職の職員はわずか四五名にしか達しないもよう

急募
鍛鐵工　旋盤工　若干名
程塚鐵工所
平市鹽宜町字九七三

文協婦人部
座談會

四日本社ホールで磐城文化協會婦人部では婦人の智識向上を圖るとともに社會に對する認識を正しくし、厚生としての完成を期するため今度政治、經濟、教育を始め社會の凡ゆる面に對する研究修養につとめるため各面の知名の士を標榜者の來遊等を捕へて、政黨政派その他關等にとらわれずに白紙のもとに座談會を開いてゆくことゝ決り、先づ一回を小澤寧七郎代議士の出郷を機に同氏を圍んで四日午後一時から本社ホールで開催することになつた、なお一般婦人の來會を歡迎する

いわき寸言

○秋空ますく澄み渡り天高く馬肥ゆるの候となる、どうやら人間も肥ゆることになりたいもの
○再會錄以來魚の姿をみぬ、魚が會錄に落選したわけではあるまいに
○ヤミ煙草の値上げの前提か、○眞面目に働いていたのではナシ一個食へぬ、政府の偉い方々は御存知？

㊗ 平市五丁目　釜屋商店
帽章・バツチ・メタル
御注文はメイ化粧品店へ
男子專務員及外勤員2名　募集
會商章徽バキア
東北代理店メイ化粧品店
平市田町六八

衣類蓄音機骨董
資金融通
高價買入
平市鍛町　中央會館

（古文書紙上公開）

飯野文書解說

猪狩金五郎

二、飯野八幡神社

飯野八幡神社は、當地方の歴史に少からぬ關係を持つ社であるが、その由來については『八幡宮由緒』に詳しく社傳が記されている。殊にその創建に關しては、當地郷土史の先驅たる磐城風土記や磐城志にも紹介せられて、一般に知られている事であるが、後冷泉天皇（七〇代）の康平の頃（約八九〇年前）源頼義が陸奧守として、奥州の安倍氏を討伐した時、鎌倉の鶴岡を始めとして、五里毎に一社を建て、京都石清水の八幡宮を勸請して、戰勝を祈願したのが起りで、世に五里八幡というものゝ一社であるというのである。

この『八幡宮由緒』は後世になつて書かれたものであるが、別に『陸奥國岩城郡八幡宮縁起事』と題した注進狀が二通あつて、同様に神社の由緒が記してある。これによれば後鳥羽天皇（八二代）の文治二年（七六〇年前）七月十日に、本社石清水八幡宮より御神体をお迎へしたのであつて、文治以前の事は何も書かれていない。注進狀と言うのは上に對する報告書であるから、最も信ずべきものと思はれるが、殘念な事にその提出の年代が記されてない。たゞその内容から見て二通の中の短い方は、鎌倉時代を下らぬものと推定される。他の一通も、前半は短い方のものと全く一致するのであるが、之は南北朝時代に提出したものであろう。注進狀の性質上、これらは提出の時に控へとして取つておいたものか、或いは更にその寫しであるかも知れないが、共に筆寫の年代の古い貴重なものである。

八幡宮は、清和源氏が厚く崇敬した神であつて、かの義家が石清水の社頭で元服し、八幡太郎と名のつた事などは天下周知のことである。それも始めは、單に源氏の守護神であるに止まつたであろうが頼朝の勢望が天下を風靡するに及んで、八幡大菩薩の神威は源氏という氏族から、一般に武士という世界に擴まる土台を得たのである。八幡宮縁起に記す文治二年は、平家滅亡の翌年で、源氏の勢力がほゞ安定した年であることを思うと時代勢力の變動に際會した當時の人心の動向も推察されるように思う。

當初は赤目崎見物岡（平廨高台）に社殿が造營されたのであるが神官人の外に別當・執行・預所なども定められて居る所を見ると、最初から規模の盛んなものであつたらしい。別當や執行は寺院に於ける官職であるが、神佛習合の時代ではあり、殊に本社の石清水が、佛教とは特に緣の深い神社であつたから、當社でもそれに習つたものであろう。預所というのは莊園の管理人のことで、この場合は神領たる好島庄の莊務を司る役目である。その外地頭の名も見へるが、これらについては追々に述べる事とする。

八幡宮の變遷を一々解說する餘裕は持たぬが、戰國時代を經ても甚しい衰頽を見なかつたことは、後陽成天皇（一一二代）の文祿五年（三五〇年前）秀吉の時代に神領六百五十石を書き上げた文書の存するも明かである。その他の重要な點は所々の項目で觸れる折があろう。

草野村警防團問題
第九分團員連袂で辭表を提出す

草野村警防團第九分團員は去月二十二日の臨時村會での和田榮治村議の失言問題から端を發し同二十四日相川分團長のもとに村當局の猛省と村の民主化、明朗化をうたつた聲明書とゝもに一同辭表を提出した、當局や警防團長等は憂慮八方奔走中だが九分團員の意見も強硬であり、かつ同分團は本部直屬として自動車ポンプ操作に當つているため今後の成行を重大視されている

磐崎のみ投票執行
他は全部無競爭

郡下の食糧調整委員改選は三十一日行はれたが、三十一か町村のうち磐崎村が定員一名超過の十六名立候補で選擧を行つたが他町村はいづれも無競爭に終つた

食調委員

◎小名濱町　伊藤榮吉、村上孝之助、草野新兵衞、沼田兵五郎、柳内勇、松原文吾、松本潔、小松四郎、小松勇吉、丹野政晴、鈴木重夫、武田彌、高萩儀平、薬谷京、村上直、柳井五郎、丹野作平、大和田喜平、遠藤英德、齊藤清正

民法講演　平市いちご會では東北帝大中川善之助教授を聘して四日午後六時から公會堂に民法講演會を開く

警察事務視察

縣會警察部員松永初雄氏等一行七名は四日午前七時二十七分平着列車で來平、平署および小名濱警部派出所を視察して同夜小名濱町に一泊、五日は植田警察署を視察して歸縣の豫定

急募

製鑵工　若干名
鍛冶工　若干名
見習工　若干名
乞本人來談

目下諸機械製作
通勤可能ナル方ヲ望ム
種類　製罐
業種　鍛造
營業　[illegible]

小名濱 上明神町
遠藤鐵工所

肥料公團支部設置　一肥料公團石城出張所の初協議會は五日午前十時から平第二小學校で開く

小名濱水道 遂に斷水
流水路堤防缺潰で

小名濱町の上水道は鮫川からの流水路の堤防が渡邊村[illegible]地内で約二十米が去る二十八九兩日の豪雨のため缺潰をみたので遂に三日から十四日間復工事中斷水のやむなきに至つた、なお工事は鮫川水利組合、水系工場並に小名濱町の平等分擔となるが約八萬円を要する

レコード樂器類及びその附屬品

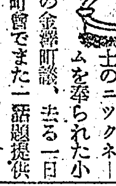
樂譜。ヤマハハーモニカ。ギター。木琴
御不用のレコード多少に不拘お讓り下さい
新品。中古品を問いません
蓄音器迅速に修理致します
有名化粧品シロツプ文房具
サンスター煉齒磨代理店

纖維製品配給所　山吉商店　平市四丁目　電268

二科展へ入選

常磐炭礦社宅の熊坂太郎氏◎「G炭礦の一隅」外一點が今回二科展に見事入選した

灰皿



◇さきにこの灰皿で雲散霧消居士のニックネームを奉られた小名濱町の金澤町議、去る一日の續行町會でまた一話題提供

◇發熱激しく一同上着なしで議席に着いた中に上着をキチンとつけたのは同議員ばかり

◇議席をヒトワタリ見廻した金澤議員、閉會を宣せられるやヘキ頭『議長九番』とさけぶ

◇さて何事を一同カタズをのむとヤオラ壇上に立つて曰く『皆さんが上着をおぬぎになつていられる日に不肖一人着ていることは甚だ失禮』

◇と例の如く眞面目くさつて一席、上着をつけた說をやつてケロリとして降壇した、そこで

◇一同もロアングリ、そこで今度は『雲散院殿霧消灰皿大居士』という追號を贈られることになつたとの話

貿易再開…明るい家計と日本經濟復興のため輸出産業戰線に參加せよ！

輸出麻テーブルクロス加工通勤者募集

一、募集人員　八十名（未經驗者歡迎）
一、作業場　平市三崎　平市授産場
一、收入相當、洋裁その他の教養講座併設

輸出麻卓布加工講習所

レントゲン科　内科
谷口醫院
平市一丁目四九　谷口孝雄

御中元特賣

工合ノ良イ　男持腕時計　一〇〇個
實用向ノ　目覺し時計　一〇〇個
新型ノ　掛時計　一〇〇個
出漁期ヲ向ヘテ船舶ニハナクテナラナイ精工舍製特殊八日巻船時計　一〇〇個

右ノ各種時計ヲ皆々様ノ日頃ノ御愛顧ニ酬ユル爲近々中ニ値上リノアルノヲ知リツツ御中元ノ意味ニテ勉強ニ限リヲツケテ特賣致シマス
御用命ハ左記時計店ニ御願ヒ致シマス

平市一丁目　常盤屋時計店
五丁目　金光堂時計店
新川町　白寶堂時計店
銀座街　誠光堂時計店

特賣期間　二十六日ヨリ九月五日マデ